



福島県立梁川高等学校

平成 30 年 11 月 29 日

## 校長通信

### Team Yanagawa

### vol. 34

#### ■ 葉を落としつくしたる木のやすらげる (加藤鎮司)

先週の 22 日は二十四節気の一つ「小雪」でした。「朔風葉を払う」の言葉通り、寒さが徐々に増し、冷たい北風が木々の葉を払い落とす頃です。校舎を囲む木々も、あらかた葉を落とし、枝だけになりました。自転車置き場に沿って立っているケヤキの木も身軽になり、枝を空一杯に伸ばしています。それまで鬱蒼と茂っていた葉に遮られていた視界は一気に開け、空が間近に迫って見えます。半田山と吾妻山の稜線が天と地を分かち景色もはつきり見るようになるようになりました。自然の営みや季節の移ろいを実感する今日この頃です。いよいよ本格的な冬の到来です。冬は鍋料理が美味しい季節。我が家の定番きりたんぼ鍋やトッポギ入りのキムチ鍋を食べて、寒さを吹き飛ばしたいものです。



#### ■ 広島再訪 ～修学旅行で考えたこと～

11 月 13 日から 16 日まで 2 学年の修学旅行があり、広島と関西方面へ三泊四日で行ってきました。私にとって久しぶりの引率でしたが、旅先で色々なことを見聞き、貴重な経験となりました。特に三度目となる広島訪問は、遠い記憶を呼び覚まし、様々なことを考える機会となりました。

一日目、旅行団は広島に移動し平和記念公園を訪れました。原爆ドームを背景に記念撮影を行い、戦没者慰霊碑に献花し黙祷を捧げました。平和記念資料館は本館が改修中のため東館のみの見学でしたが、昨年 4 月にリニューアルされた館内は、「導入展示」「核兵器の危険性」「広島歩み」の三つのゾーンからなり、誰もが原爆の非人道性、原爆被害の大きさ、被爆者や遺族の苦しみと悲しみを知ることができる構成になっていました。また、解説パネルや資料による展示だけでなく、来館者が知りたい項目をタッチパネル上で選択すると、その項目に関する解説が出てくるモニターが設置され、学習のための配慮がなされていることに感心しました。私が初めて広島を訪れたのは平成 7 年。全国高校総体のアーチェリー競技に出場する生徒を引率するためでした。この大会では田村高校の村越選手が男子個人戦で優勝し、アーチェリーの魅力を実感することになりました。開通したばかりの広島高速交通アストラムラインに乗り、会場のスタジアムに通ったことが懐かしく思い出されます。

二度目は勤務していた高校の修学旅行の引率でした。この時は平和記念資料館を見学し宿舎に入ってから、夕食後に被爆者の方から話を聞きました。語り部は坪井直さん。昭和 20 年 8 月 6 日、坪井さんは二十歳の時、爆心地から約 1.2 キロの地点で被爆し、大やけどを負い瀕死の状態のところを救助され、九死に一生を得た体験を生徒達に話してくださいました。現在は原水爆被害者団体協議会の理事長を務め、2 年前に米国のオバマ大統領が広島を訪問した際は、式典で大統領と握手を交わし、核廃絶を訴えています。平成 29 年には国連において 122 カ国と地域の賛成多数で核兵器禁止条約が採択され、その中心となった国際 NGO (ICAN) がノーベル平和賞を受賞しました。しかし、同年 1 月の米国の政権交代は状況を一変させました。米国政府の自国第一主義と保護主義的な貿易政策は、これまで世界を支えていた国際協調と自由貿易の枠組みを脅かし、国家間の摩擦を引き起こしています。また、中距離核戦力全廃条約からの離脱を表明し、核廃絶に逆行する政策がとられています。かつてオバマ大統領がプラハで唱えた「核なき世界」を目指す理想は、どこに向かおうとしているのか。そのようなことを考えながら資料館を回っていた私は、最後に一階の企画展示室に行きました。8 時 15 分で止まった時計、変形した三輪車、中学生が着ていたボロボロの制服など、被爆者の遺品を見ていた私の目に飛び込んできたのは、白血病で亡くなった佐々木禎子さんが棺に入った写真でした。その瞬間、心の内から込み上げてくるものがあり、涙をこらえるのがやっとでした。いっしょに展示資料を見ていた生徒達は、どのように感じたのか。近々彼らの感想に目を通したいと思っています。



#### 税に関する 高校生 の作文コン クール 表彰式

平成 30 年度「税に関する高校生の作文」コンクールにおいて、1 年生の鎌田海里君が税団協会賞を受賞し、11 月 27 日、校長室にて授賞式が行われました。作文は「桜島フェリーに乗って思ったこと」と題して、家族と九州旅行に出かけた時に乗船したフェリーの料金について抱いた素朴な疑問から、身近な税やその使われ方に考察を深めており、論旨も明快な素晴らしい内容でした。当日は福島税務署副所長の黒田誠之様から賞状と副賞を授与されました。鎌田君、おめでとうございます。



鎌田君、黒田副所長、小生で  
記念撮影

## 学校公開がありました



11月7日と8日は学校公開でした。近隣の中学校から本校の授業を参観するため多くの先生方が来校しました。特に嘗ての教え子たちが熱心に学習している様子に目を細める先生方や、本校独自の「学び直し」と「少人数指導」を柱とした学習指導に関心を持たれた先生方がおられました。霊山中学校の杉山忠彦校長先生は、職員会議で本校の取り組みを先生方に紹介してくださいました。心より感謝申し上げます。学校公開があった週の5日間は互観授業を実施し、先生方同士で授業を参観し合い、授業改善の観点から参考になった点や、自身の授業に取り入れたい点について情報を交換しました。今後も知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力、自ら学ぶに向かう力を育成するためのアイデアを共有し、指導力向上と授業改善に努めてまいります。

## 校内で授業研究に取り組んでいます その3

### 数学

11月8日の4校時、石田千恵教諭による数学Aの授業では、2年生が「確率」について学習しました。授業のめあては「確率の考え方を理解し、確率を求められるようになる」。生徒達は「試行」「事象」「全事象」「同様に確からしい」などの数学的概念について、ワークシートに記入しながら理解するとともに、例題を解くことで確率の求め方を学んでいました。分かりやすい説明がなされ、論理的に考える力を養う授業でした。

### 公民

11月7日の1校時、遠藤透教諭による政治経済の授業では、2年生が地方自治について学習しました。授業のめあては「地方自治を感じる」。生徒達は10月末に投票された県知事選の候補者に新聞社が行ったアンケート結果を読み、自分が最も気になる項目をいくつか選び、賛成できる回答を選んでその理由をワークシートにまとめ、ペアになった級友に説明していました。生徒が活発に意見を出せる仕掛けが周到に準備された授業でした。

### 理科

11月8日の1校時、齋藤卓也教諭による化学基礎の授業では、3年生が実験を行いました。授業のめあては「紫キャベツを使って酸性、塩基性を調べよう」。生徒達は紫キャベツをガスバーナーで煮だして色素を抽出し、酸・塩基による色の変化を調べました。また、抽出液を使って身のまわりにある物質の液性を調べました。生徒の興味関心を引き出し、化学反応の原理を確実に定着させる授業でした。11月12日の4校時、大松純子教諭による科学と人間生活の授業では、1年生が実験を行いました。授業のめあては「繊維について、性質の違いを確認する」。生徒達はガスバーナーを使う、様々な素材の布の燃え方の違いを観察し、硫酸と水酸化ナトリウム水溶液に加えてその反応について考察しました。観察と実験を通して、衣料材料に用いられている繊維に関心と理解を持たせる授業でした。

### 国語

11月7日の5校時、及川俊哉教諭による国語総合の授業では、1年生が宮沢賢治の短編小説「よだかの星」について学習しました。授業の課題は、「星になったよだかは幸せだったのだろうか？」。生徒達は自分の意見や考えの根拠を教科書の本文から抜き出して付箋に記入し、その理由を考えてバタフライマップにまとめていました。思考ツールを使用し、論理的な思考力を育もうとする授業でした。



## 学校評議員会が行われました

11月8日、第二回学校評議員会が行われ、評議員の宍戸弘治様、八巻幸一様、西村加代様をお迎えしました。5校時目は授業を参観していただき、化学の実験や学び直しの授業、TTによる少人数指導など本校独自の取り組みをご覧にいただきました。6校時目の評議員会では、中間評価報告書について各部から説明を行い、評議員の皆様から校務運営についてご意見を頂戴しました。また、授業参観の感想もいただきました。委員の皆様からいただいたご意見やご助言を今後の校務運営に生かしていきたいと存じます。

## 部活動だより ～ソフトテニス部が頑張っています～

10月31日から11月2日まで会津若松運動公園にて県高校新人体育大会が、11月17日には福島市菅庭球場にてインドア選手権大会県北地区1次予選会が行われました。結果は以下のとおりです。

### □県新人大会

団体1回戦：梁川1-2好間

個人1回戦：佐藤・齋藤組4-0古館・松澤組（会津北嶺）

2回戦：〃 0-4佐藤・会田組（田村）

### □インドア選手権

団体1回戦：梁川1-2二本松工業、個人戦：齋藤・高橋組、村上・大橋組（1回戦敗退）

小賀坂・結城組（2回戦敗退）佐藤・齋藤組（3回戦敗退）



### 創立百周年記念事業実行委員会より

- 11月6日、定例役員会があり、募金活動の現状、企業に対する趣意書、各種団体への募金の呼びかけについて、話し合いが行われました。
- 11月13日、財務委員会があり、同窓生への募金の呼びかけ、地元企業と関係団体のリストアップ、PTAと教職員に対する募金活動について協議が行われました。

### 音楽部がオラトリオに出演しました

11月18日、音楽部は保原体育館で行われた伊達市楽友会主催のオラトリオ「オン・ザ・ロード」に出演しました。生徒12名は加盟団体の方々と共に美しいハーモニーを響かせていました。学校以外の方々と協力してステージを作り上げた経験は、きっと生徒達の宝物になるでしょう。

